

働く女性Real Vol.8
『ワーキングマザーと仕事について』
調査レポート

2018.09

リビング暮らしHOW研究所

通勤時間は「45分未満」が過半数、「18時台」の帰宅が最多

夫の帰宅時間は「21時以降」が4割

- 通勤時間は、「45分未満」が過半数。特に、フルタイムワーク者では「30分未満」が約4割と、通勤時間が短い。時短勤務者は、「45分～1時間未満」28.3%、「1時間～1時間30分未満」24.5%と、通勤時間が長い人が多い。
- 自分自身の平日の平均帰宅時間は、「18時台」が47.2%と最多。
- 夫の帰宅時間は「19時台」26.7%が最多。一方で「21時以降」と、子どもの夕食・入浴などで忙しい時間帯に家にいない夫も約4割。

半数が、実家の親に家事・育児のサポートを受けている

夫の帰宅時間は、家事・育児の分担に影響大

- 育児や家事のサポートを受けている人は約6割。そのほとんどが「実家の親」50.9%、「夫の親」17.0%に頼っている。ベビーシッター・家事代行などの利用はわずか2.5%。
- 夫の平均帰宅時間が「21時以降」という人のほうが、サポートを受けている（特に実家の親）割合がやや高い。
- 子どもが小学生以下の人に、子どもが登園・登校できないとき夫婦どちらが世話をするかを聞いたところ、「ほとんど自分」という人が6割超。
- 夫婦の家事・育児分担は、妻の方が比率が高い人が大半。特に、夫の平均帰宅時間が「21時以降」の場合、「夫0：妻10」「夫1：妻9」が45.9%と多い。

企業の規模で差がある、子育て支援制度（法定外）の有無

ある率トップは「短時間勤務（子が3歳以上）」で、利用率6割

- 今の会社を選ぶ際、子育て関連の制度状況について確認した人は、約3割。将来の子育てを見据えて仕事探しをしたという人はそれほど多くない。
- 法定外の子育て支援制度で、勤務先にある割合が高いトップ3は、「短時間勤務（子どもが3歳以上になってからでもできる）」50.9%、「子どもの看護のための休暇（小学生以上も対象）」40.9%、「始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ」37.1%。

勤務先の規模別でみると、「従業員数301人以上」のほうが、倍以上のポイントがある項目が多い。20ポイント以上の差があるのは、「短時間勤務（子どもが3歳以上になってからでもできる）」「育児休業の2年以上の延長取得」「男性の育児休業促進」「子どもの看護のための休暇」「フレックスタイム」。

あると思う制度のトップは「育児サービス費用の補助」

中小企業では、ある率が低い「看護休暇」などのニーズが強い

- 今はないが、会社にあると思う制度のトップは「育児サービス費用の補助」45.3%。ほかに、3割超のポイントを集めたのは、「子どもの看護のための休暇（小学生以上も対象）」「事業所内託児施設」「テレワーク」。
- 勤務先の規模別にみると、従業員数「300人以下」は、もともと制度がある割合が低いこともあり、「育児サービス費用の補助」「育児目的休暇」「子どもの看護のための休暇（小学生以上も対象）」「短時間勤務（子どもが3歳以上になってからでもできる）」「フレックスタイム」と、ポイントが高い項目が多い。
- 「301人以上」の勤務先でも、ある割合が低いサービスへのニーズは強く、「育児サービス費用の補助」「事業所内託児所施設」「再雇用制度（育児で退職後）」「テレワーク」などのポイントが高い。

今の会社のよい点のトップは「休暇が取りやすい」だが、

大企業は6割、中小企業は4割と差は大きい

- 今の会社や仕事のよい点を聞くと、上位は「休暇が取りやすい」52.8%、「職場の雰囲気が良い」41.5%、「残業がない・ほほない」39.6%、「上司・同僚の理解がある」39.0%と、子育てとの両立がしやすいことを重視している（時間的にもメンタル的にも）。また「仕事内容が好き」「仕事にやりがいを感じる」と、約3分の1が感じている。
- 勤務先の規模別にみると、従業員数「301人以上」のほうが、20ポイント以上多かったのは、「休暇が取りやすい」63.8%、「福利厚生が充実している」42.5%。また、「職場の雰囲気が良い」47.5%、「子育て支援制度が充実している」26.3%、「自分の仕事が適切に評価される」25.0%なども、大企業のほうが5ポイント以上多い。
- 「300人以下」のほうが5ポイント以上多い項目は、「仕事内容が好き」36.7%。

9割近くが、働き方について悩んだことがある

きっかけは「心身の不調」「子どもの健康」「育児が不十分」

家事・育児・仕事と、体力・気力の微妙なバランスの綱渡り

- ワーママとして働く中で、仕事や働き方について悩んだことがある人は9割近くいる。
- 悩んだきっかけや理由の上位は、「疲れがたまっている・体調が優れないとき」75.5%、「ストレスがたまっている・イライラして家族に当たってしまうとき」64.7%。多くのワーママが、心身の不調から仕事・働き方への迷いを感じていることが分かる。
- また、子ども関連の悩みでは、「子どもの健康面に不安があるとき」64.0%、「子どもの学習や遊びなど、十分に関わっていないと感じるとき」54.0%に、仕事や働き方を考える人が多い。
- 「家事が十分にできないとき」「仕事が忙しいとき」も半数以上の人が、働き方に悩んでいる。
- 時短勤務者は、時短勤務に関する項目のポイントが比較的高い。「時短勤務が終了するとき」（33.3%）に家事・育児・仕事のバランスが変わる不安や、「時間的制約がある働き方のため、評価されない」（33.3%）という思いが交錯する。時短勤務者は、保育園児ママが9割超ということもあり、「子どもの健康面で不安があるとき」（75.0%）に、働き方に悩むことが多い。
- フルタイム勤務者は、フルタイムゆえの時間のやりくりに悩みを感じている。子どもが比較的大きい（末子が小学生以上の人約4割）こともあり、「学習や遊びなど、十分に関わっていないと感じるとき」61.4%、「子どもの習い事・塾などの送迎・立ち合いができない」48.6%などの理由で、働き方を考えることが多いようだ。

悩んで、仕事や働き方を見直した人は約4分の1

社内での見直しが多数で、転職は約2割

- ワーママとして働く中で、仕事や働き方について悩んだときに、実際に仕事や働き方を見直したことがある人は、約4分の1。どのように見直したかという点、「会社の子育て両立支援制度を使って、働き方を変更」「会社や上司に相談して、部署異動や担務変更」という人が約5割。実際に転職した人は22.9%。
- ワーママとして働く中で、仕事や働き方について悩んだときに、「実際に仕事や働き方を見直したことがある」人は、「家事が十分にできないとき」に悩んだ人が多い。
- 「見直そうと思ったことがあるが、行動には移していない」場合は、「転職」を考えた人が39.1%で最多。そのほか、「会社を辞めて専業主婦 or しばらくしてから再就職」という選択肢も浮かんではいないが、実際に行動した人のポイントが低いことから、実際には選びにくい選択肢ということだろう。

出産後、仕事への意欲は「変わらない」「低くなった」が各4割

子育て経験は「仕事に役立つことがある」が多数派

- ワーママになってから、もっと仕事に力を入れたいと思うようになったことがある人は44.7%。そう思った時期は「末子が3歳未満」が35.2%と最多。
- 子どもができる前の、仕事への意欲が「高かった・どちらかといえば高かった」という人が8割超と大多数。
- 子どもができてから、仕事への意欲が「変わらない」という人が39.0%。一方で、「やや低くなった」「低くなった」を合わせると39.0%いる。
- 仕事と育児の両立について、「どちらも中途半端」と思っている人が約4割と最多「うまく両立できている」「なんとか両立できている」という人が約4割。
- 子育ての経験が、仕事に役立つことがあるという人が64.2%。
- 具体的な内容を聞くと、メンタル面の成長（優しくなった、忍耐強くなった、など）、コミュニケーション力アップ、効率・段取り力アップなどが見られる。また、子ども連れの顧客への対応や商品企画などに、育児の経験を生かせるといった声もある。

働き方改革などが進み、働きやすくなったと思う人が約3分の1

理由は「子育て支援制度の導入」「周囲の理解」

- 働き方改革や女性活躍推進などが進められている中、3年前と比べて、自分自身が働きやすくなったと「思う・やや思う」人は35.8%。その理由としては、子育て支援制度が会社に導入されたり、ワーママの増加や周囲の認知・理解の拡大などが挙げられている。
- 働きやすくなったと「思わない・やや思わない」人は28.3%。理由としては、制度の導入や職場の理解促進が進まないというものが多く、特に、勤務先の従業員数が300人以下の場合、「どちらともいえない」が46.8%、「やや思わない・思わない」人が31.6%と、あまり改善が感じられていない。

【実施日時】 8月1日（水）～8月7日（火）

「シティリビングWeb」「ぎゅってWeb」「あんふあんWeb」でのアンケート

【調査対象】 高校生までの子どもがいるフルタイムワークのママ（全国） 有効回答数 / 159

【設問】

Qあなたの通勤時間（片道）を教えてください。

Q育児や家事のサポートを、誰から受けていますか？

Q病気などで、子どもが保育園や学校に行けないとき、夫婦のどちらが世話をしますか？

Qあなたの平日の平均帰宅時間を教えてください。

Q夫の平日の平均帰宅時間を教えてください。

Q夫婦の家事・育児分担の比率を教えてください。

Q今の職場で何年働いていますか？

Q今の会社を選ぶ際、子育て支援制度の有無や、制度が充実しているかどうかを調べたり、確認したりしましたか？

Qあなたの勤務先にある仕事と子育ての両立支援制度（法で定められた以外のもの）を教えてください。

Q今はないけれど、あなたの会社にあるといいと思う、仕事と子育ての両立支援制度をすべて選んでください。

Q今の会社や仕事のよい点を、すべて選んでください。

Qワーママとして働く中で、仕事や働き方について悩んだことがありますか？

Q前問で「ある」と答えた方、悩んだきっかけや理由として、当てはまるものをすべて選んでください。

Q仕事や働き方について悩んだことが「ある」と答えた方、そのときに、仕事や働き方を見直そうと思ったり、実際に見直したことはありますか？

Q前問で「見直した」と答えた方、どんなふうに見直しましたか？「見直そうと思ったことがあるが、行動に移していない」と答えた方は、どのような見直し方を考えましたか？

Qワーキングマザーになってから、家庭・子育てとの両立が軌道に乗ったり、子どもから手が少し離れたりして、もっと仕事に力を入れたいと思うようになったことはありますか？

Q前問で「ある」と答えた方、それはいつごろですか？

Q子どもができる前、仕事への意欲はどうでしたか？

Q子どもができてから、仕事への意欲は変わりましたか？

Q働き方改革、女性活躍推進などが進められている中、3年前と比べて、あなた自身は働きやすくなったと思いますか？

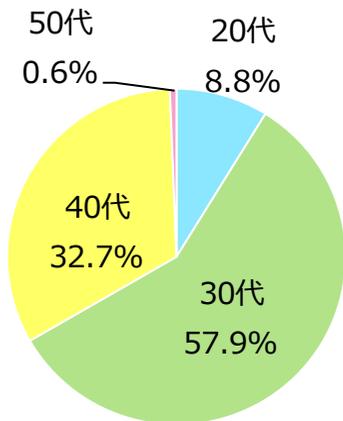
Q仕事と育児の両立について、あなたの気持ちに、最も近いものを一つ選んでください。

Q子育ての経験が仕事に役立つことがありますか？「ある」という方、どのようなことか具体的に教えてください。

Qワーママになってから、上司や同僚に言われて、ショックだったり、仕事のモチベーションが下がった言葉はありますか？

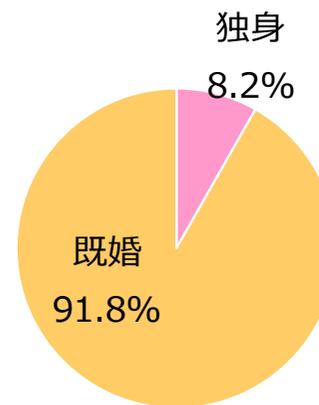
Qワーママになってから、上司や同僚に言われて、うれしかったり、仕事のモチベーションが上がった言葉はありますか？

年代

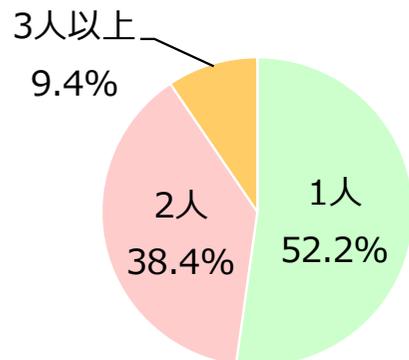


平均年齢 37.3歳

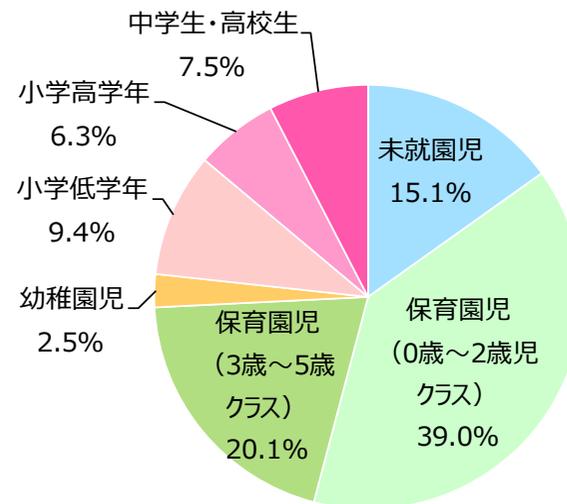
婚姻状況



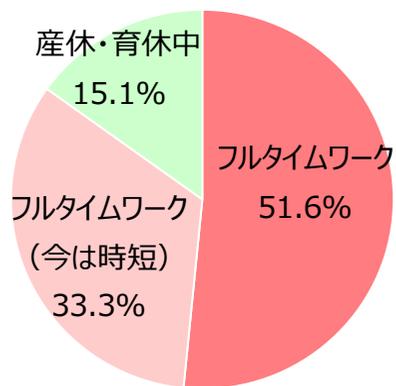
同居する子どもの人数



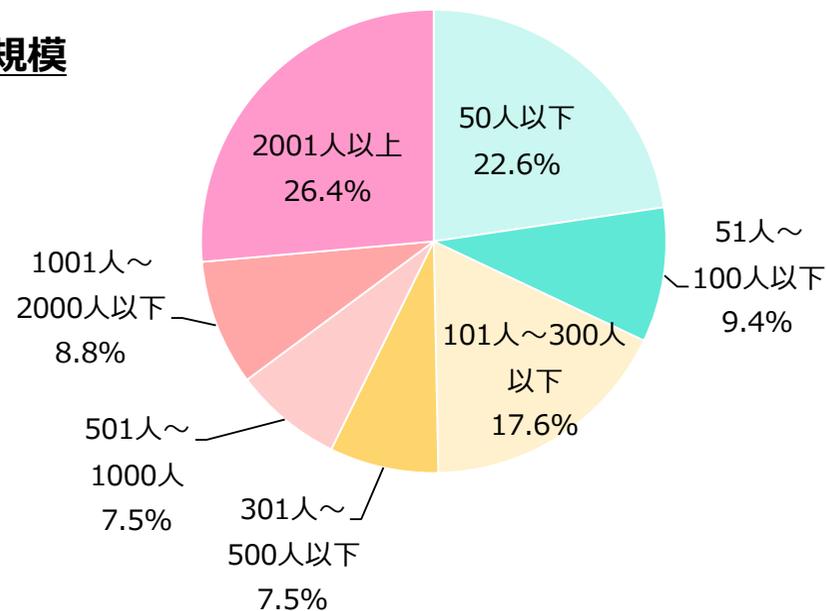
末子学齢



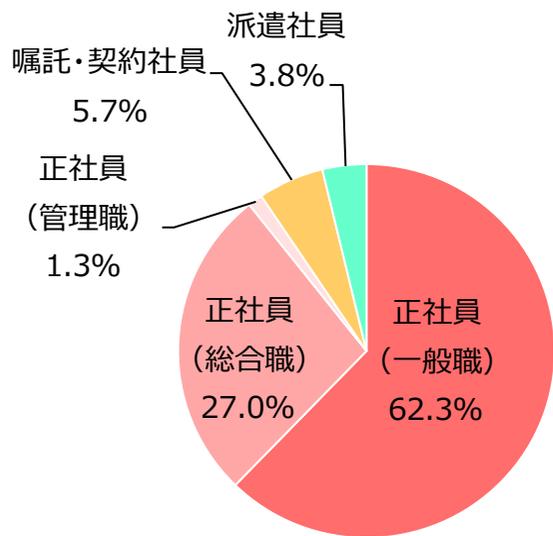
働き方



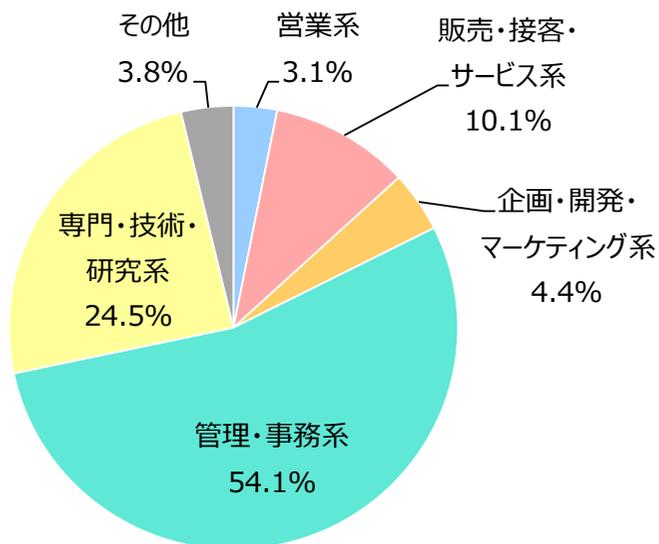
勤務先の規模



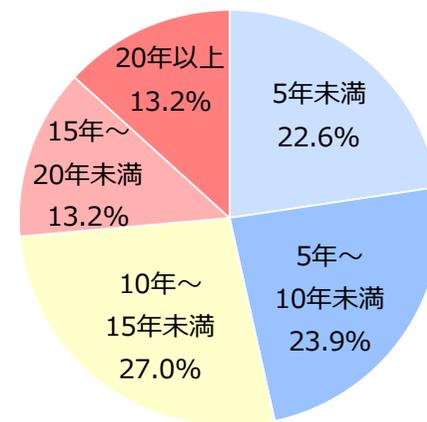
雇用形態



職種



今の職場での勤続年数



通勤時間は、「45分未満」が過半数。

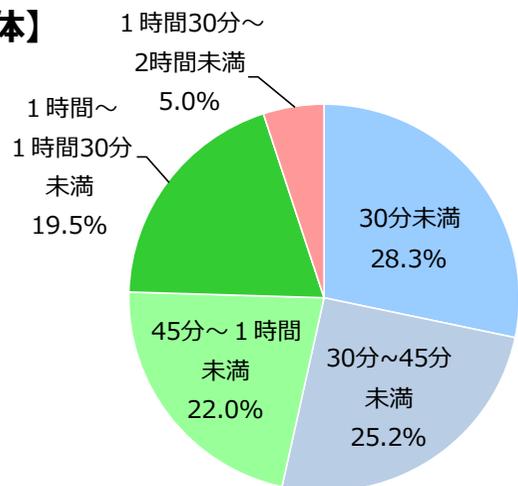
特に、フルタイムワーク者では「30分未満」が約4割と、通勤時間が短い。

時短勤務者は、「45分～1時間未満」28.3%、「1時間～1時間30分未満」24.5%と、通勤時間が長い人が多い。

末子学齢別でみると、通勤時間が「1時間以上」なのは、末子が未就学児という人が最多（26.2%）。末子が大きい人は、通勤しやすい場所に再就職した人もいるため、通勤時間が1時間未満の人がやや多いと推察される。

通勤時間（片道）

【全体】

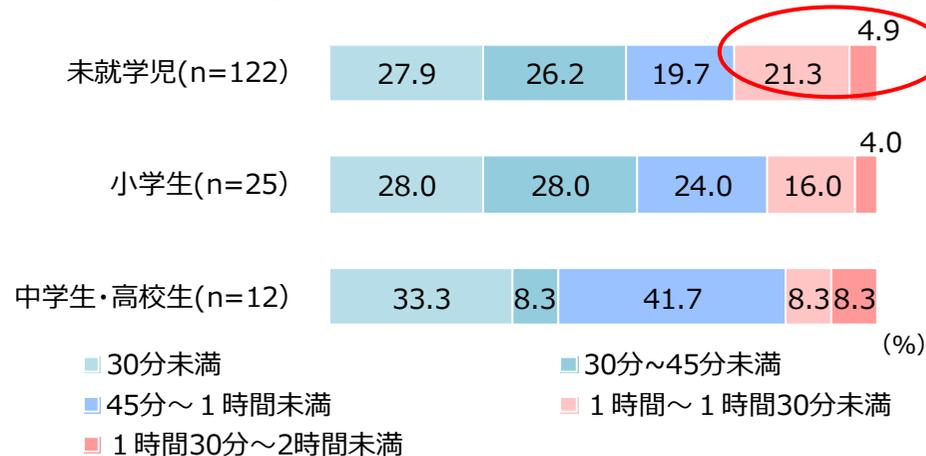


【働き方別】

※産休・育休中を除く



【末子学齢別】

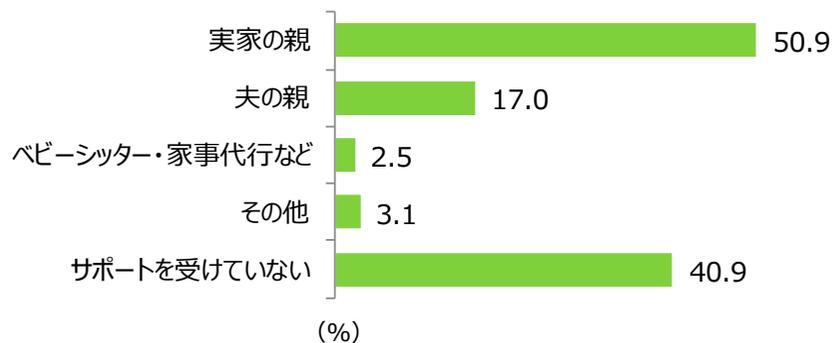


育児や家事のサポートを受けている人は約6割。そのほとんどが「実家の親」50.9%、「夫の親」17.0%に頼っている。ベビーシッター・家事代行などの利用はわずか2.5%。

夫の平均帰宅時間が「21時以降」という人のほうが、サポートを受けている（特に実家の親）割合がやや高い。

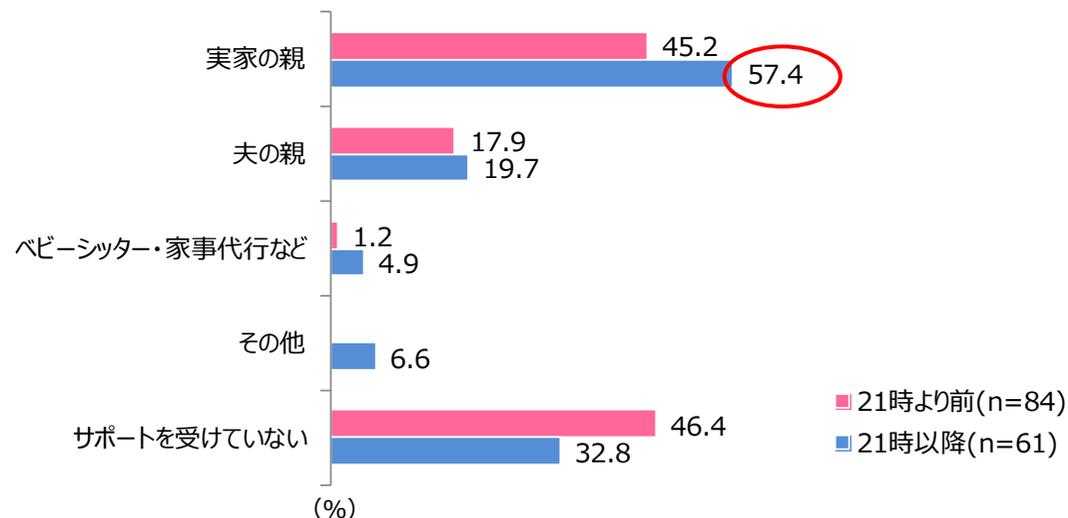
育児や家事のサポートを、誰から受けているか？ （複数回答）

【全体】



【夫の平均帰宅時間別】

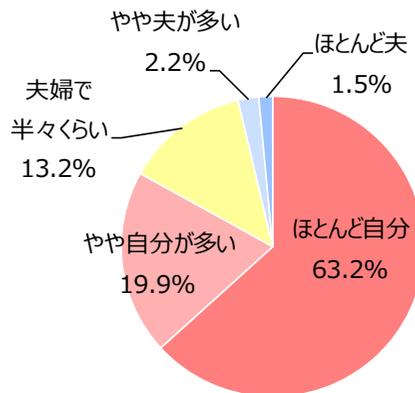
※独身を除く



子どもが小学生以下の人に、子どもが登園・登校できないとき夫婦どちらが世話をするかを聞いたところ、「ほとんど自分」という人が6割超。夫婦の家事・育児分担は、妻の方が比率が高い人が大半。特に、夫の平均帰宅時間が「21時以降」の場合、「夫0：妻10」「夫1：妻9」が45.9%と多い。

病気などで、子どもが保育園や学校に行けないとき、夫婦のどちらが世話をするか？

【全体】

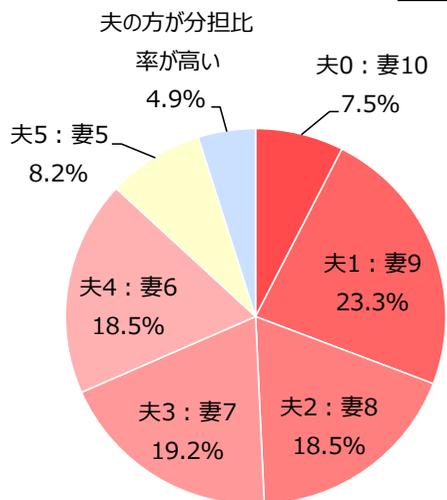


n=136 ※独身を除く
※小学生以下の子どもがいる人が回答

夫婦の家事・育児分担の比率

【全体】

n=146 ※独身を除く



【夫の平均帰宅時間別】

※独身のひと、夫が専業主夫、在宅ワークの人を除く

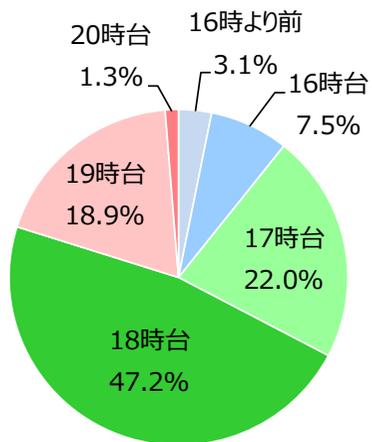


自分自身の平日の平均帰宅時間は、「18時台」が47.2%と最多。フルタイムワーク・時短勤務ともに「18時台」が最多。フルタイムワークは19時台、時短勤務は17時台も3割台いる。

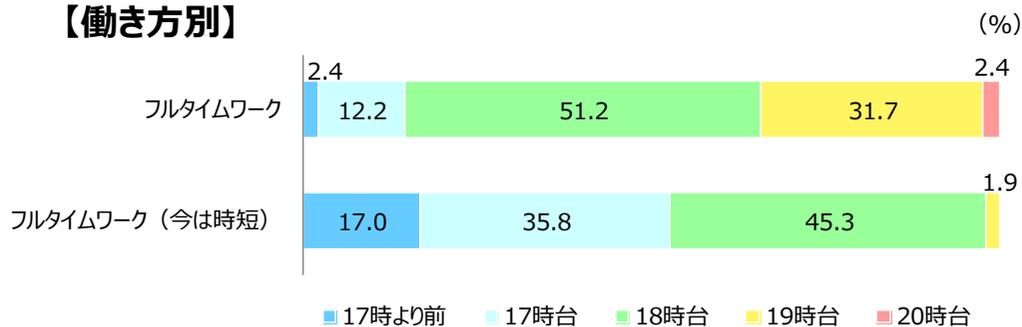
末子学齢で見ると、末子が未就学児の人は18時より前の帰宅が4割近く、19時より前に8割以上が帰宅している。末子が小学生の人は18時台・19時台が8割。
 ※末子が中学生・高校生の人はn=12のため参考値

自分自身の平日の平均帰宅時間

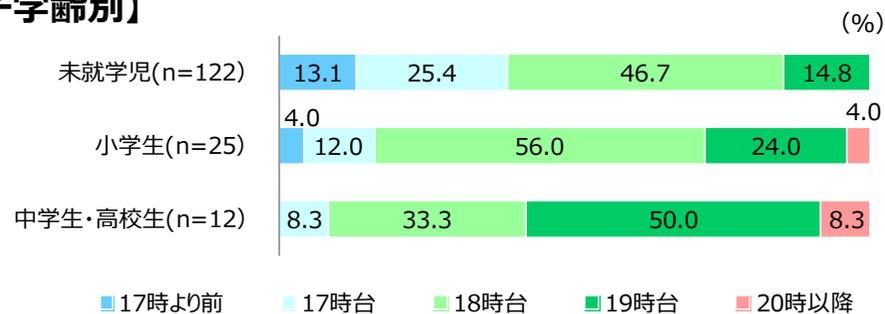
【全体】



【働き方別】



【末子学齢別】

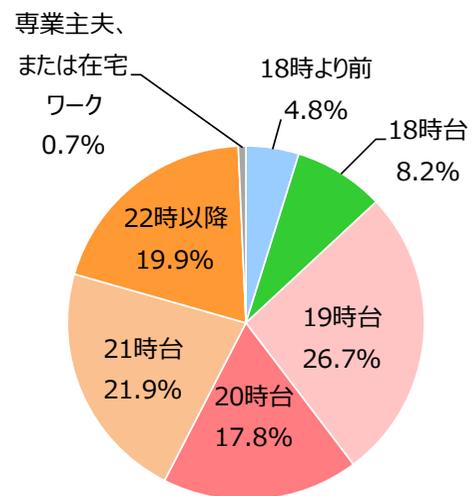


夫の帰宅時間は「19時台」26.7%が最多だが、次いで「21時台」21.9%、「22時以降」19.9%。
 子どもの夕食・入浴などで忙しい時間帯に、家にいない夫は約4割。

夫の平日の平均帰宅時間

【全体】

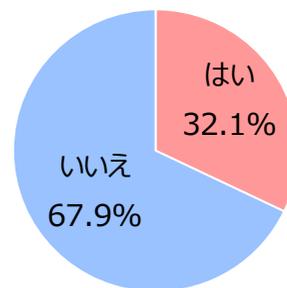
n=146 ※独身を除く



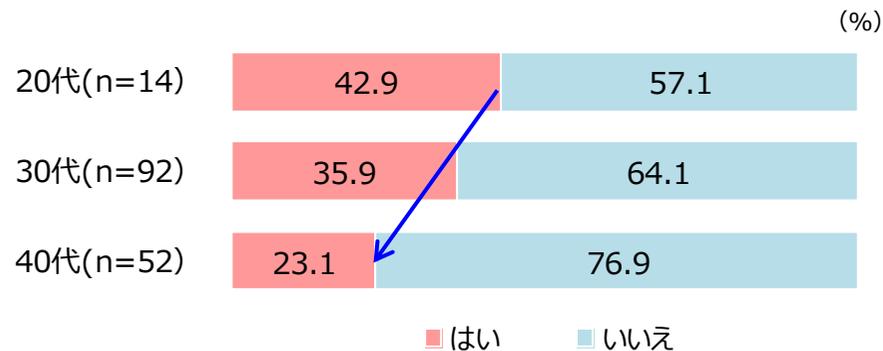
今の会社を選ぶ際、子育て関連の制度状況について確認した人は、約3割。
年代別にみると、下の世代ほど確認した人が多い。

今の会社を選ぶ際、子育て支援制度の有無や、制度が充実しているかどうかを調べたり、確認したりしたか？

【全体】



【年代別】

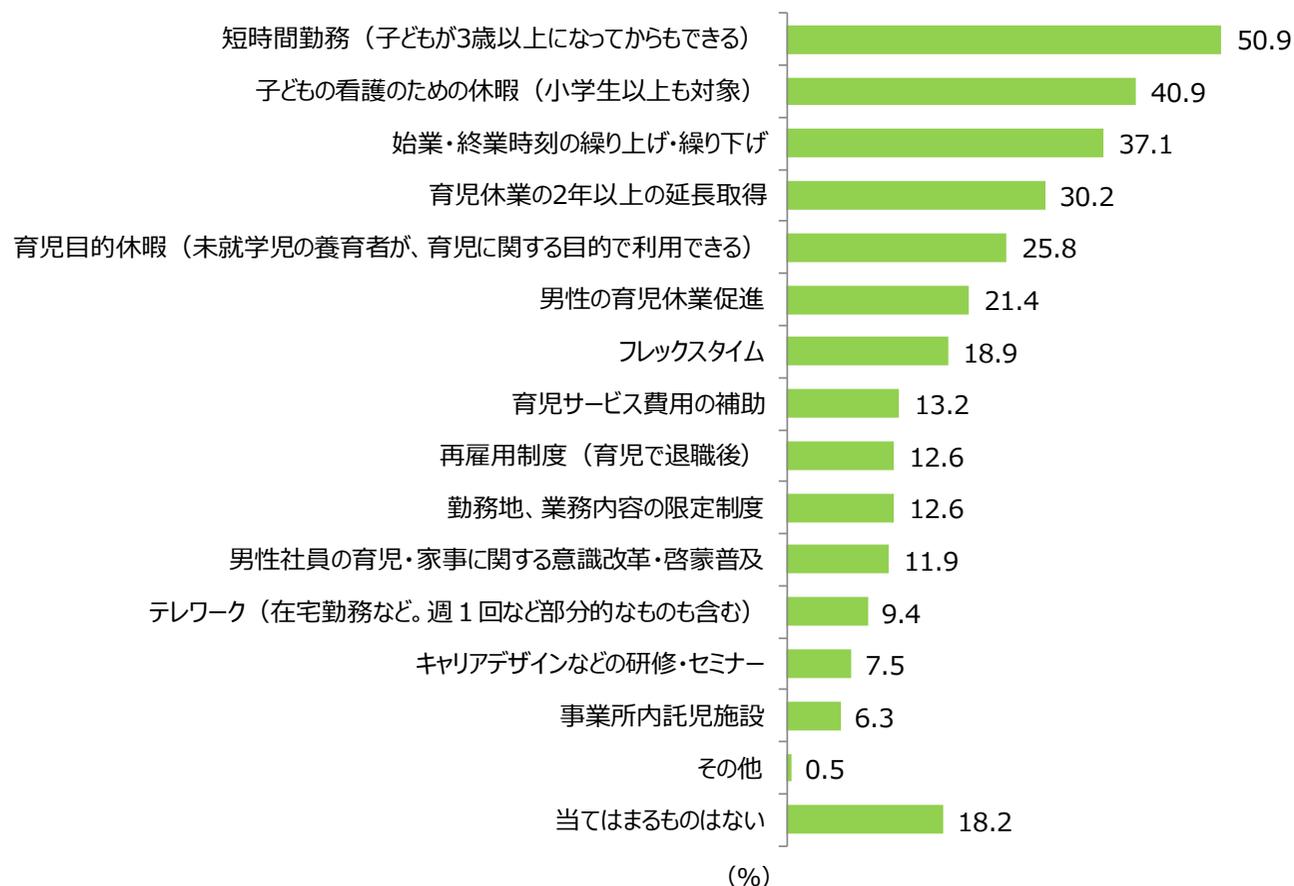


法定外の制度で、ある割合が最も高いのは、「短時間勤務(子どもが3歳以上になってからもできる)」50.9%。次いで、「子どもの看護のための休暇（小学生以上も対象）」「始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ」。

【全体】

勤務先にある仕事と子育ての両立支援制度（法で定められた以外のもの）

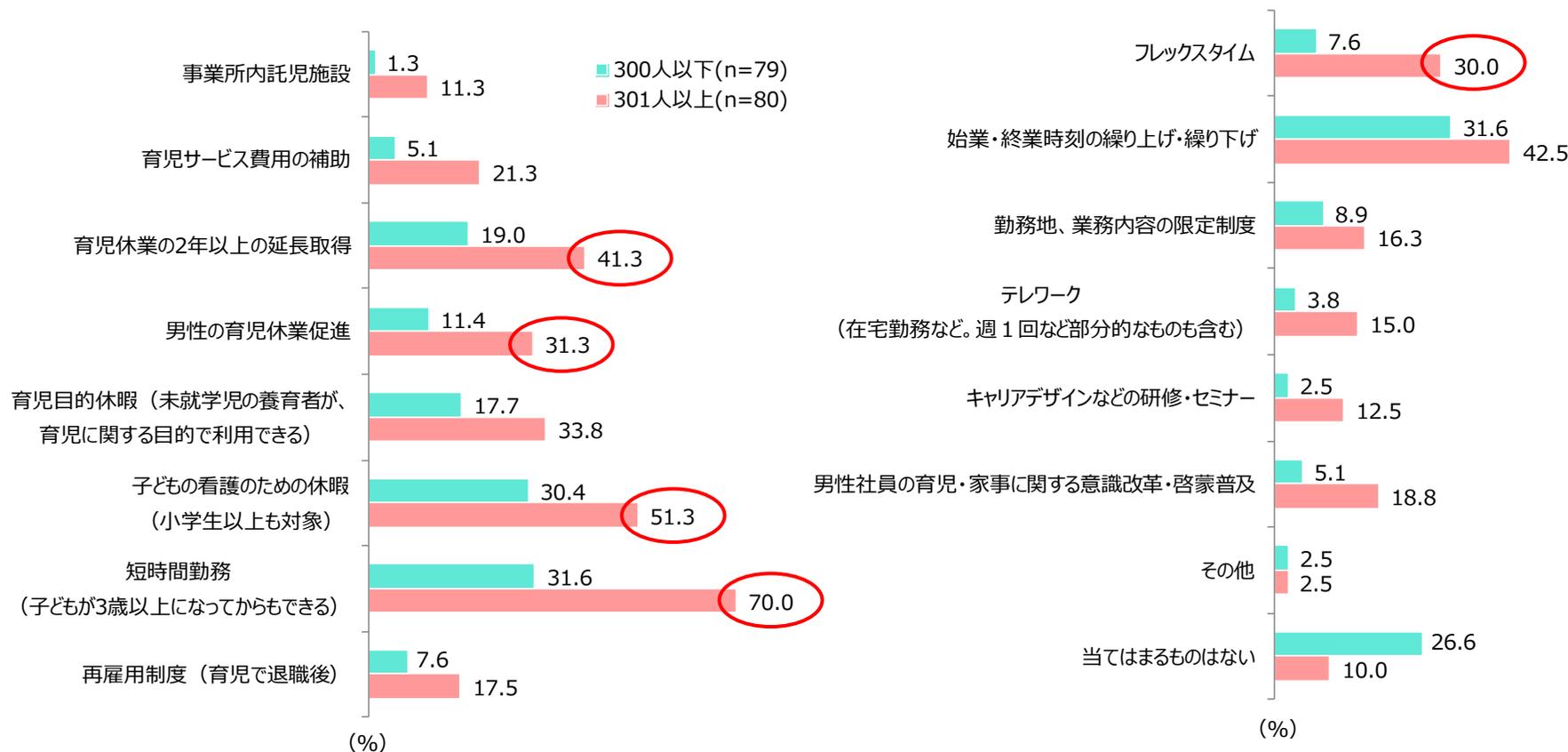
(複数回答)



勤務先の規模別でみると、どの制度も「従業員数301人以上」のほうが、ある割合が高く、倍以上のポイント差がある項目が多い。20ポイント以上の差があるのは、「短時間勤務（子どもが3歳以上になってからもできる）」「育児休業の2年以上の延長取得」「男性の育児休業促進」「子どもの看護のための休暇」「フレックスタイム」。

勤務先にある仕事と子育ての両立支援制度（法で定められた以外のもの）の有無 （複数回答）

【勤務先の規模（従業員数）別】



今はないが、会社にあるといいと思う制度のトップは「育児サービス費用の補助」45.3%。
 ほかに、3割超のポイントを集めたのは、「子どもの看護のための休暇（小学生以上も対象）」「事業所内託児施設」「テレワーク」。

【全体】 今はないけれど、会社にあるといいと思う、仕事と子育ての両立支援制度 (複数回答)

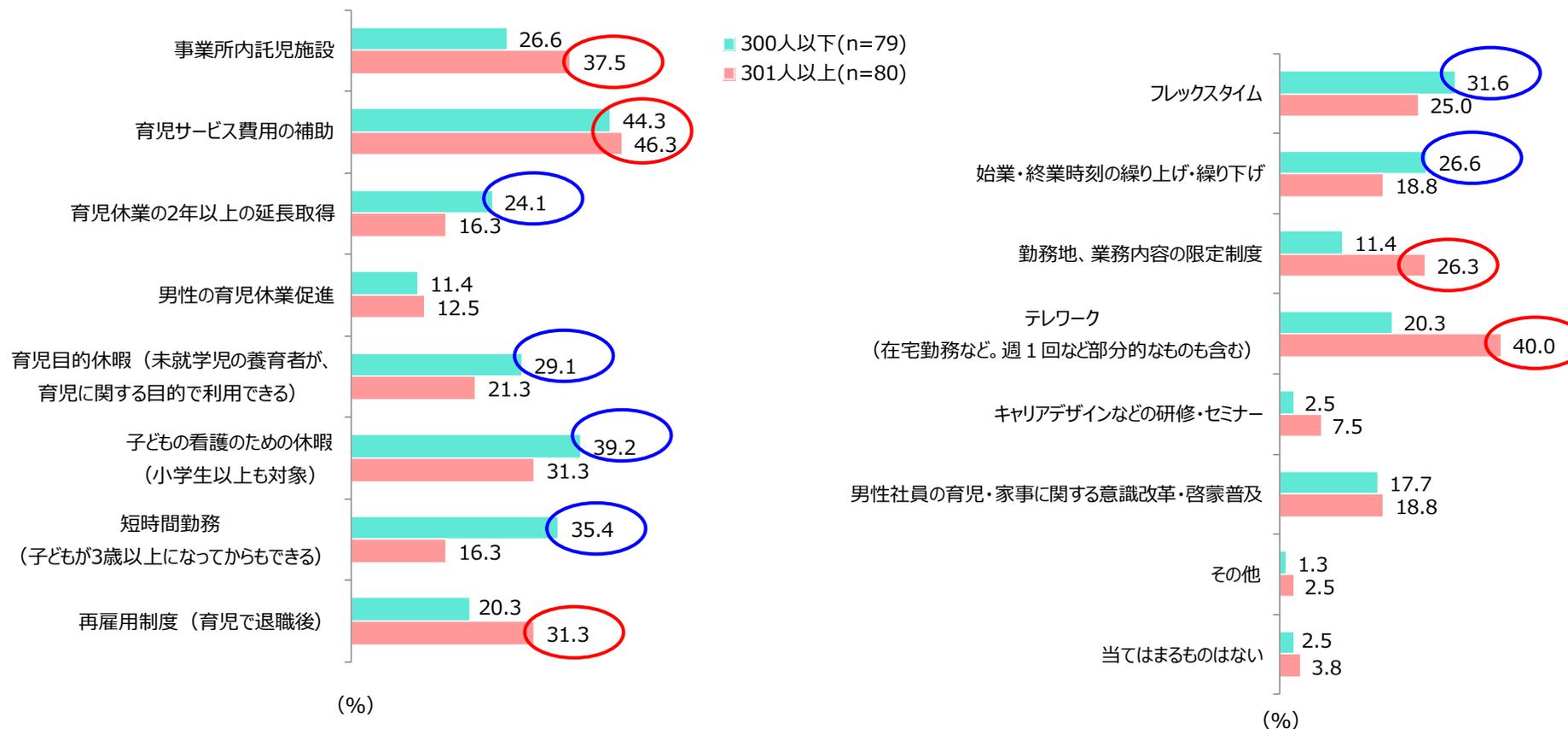


「従業員数300人以下」は、制度がある割合が低いこともあり、「育児サービス費用の補助」「育児目的休暇」「子どもの看護のための休暇（小学生以上も対象）」「短時間勤務（子どもが3歳以上になってからもできる）」「フレックスタイム」と、ポイントが高い項目が多い。「301人以上」の勤務先でも、ある割合が低い「育児サービス費用の補助」のニーズは強い。また、「事業所内託児所施設」「再雇用制度（育児で退職後）」「テレワーク」などへのニーズも高い。

今はないけれど、会社にあると思う、仕事と子育ての両立支援制度

(複数回答)

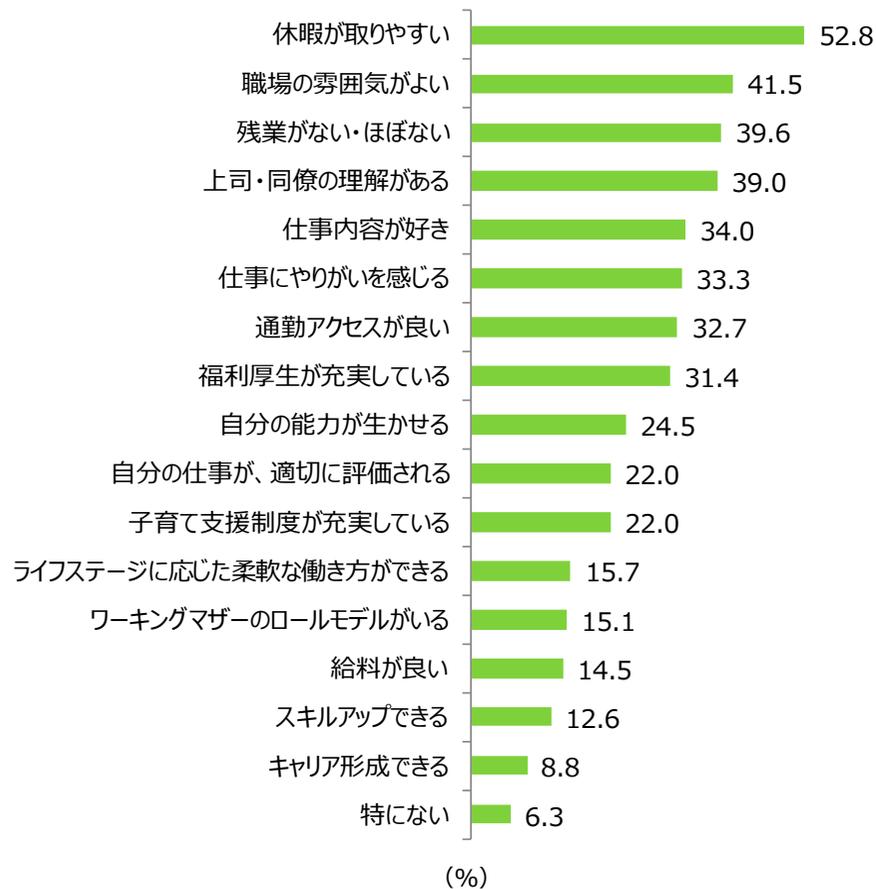
【勤務先の規模（従業員数）別】



今の会社や仕事のよい点を聞くと、上位は「休暇が取りやすい」「職場の雰囲気がよい」「残業がない・ほぼない」「上司・同僚の理解がある」。子育てとの両立がしやすいことを重視している（時間的にもメンタル的にも）。また「仕事内容が好き」「仕事にやりがいを感じる」と、約3分の1が感じている。

今の会社や仕事のよい点 (複数回答)

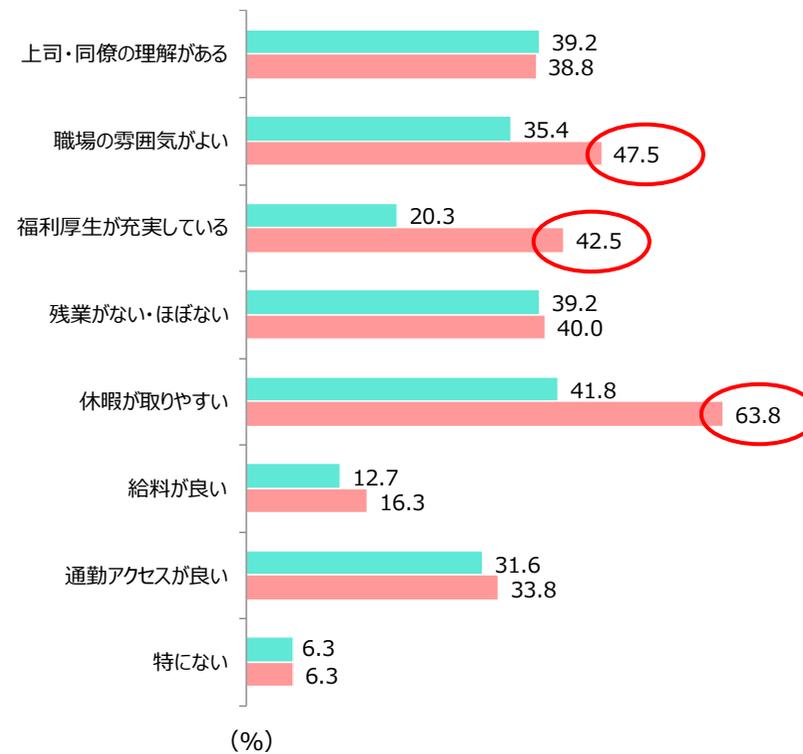
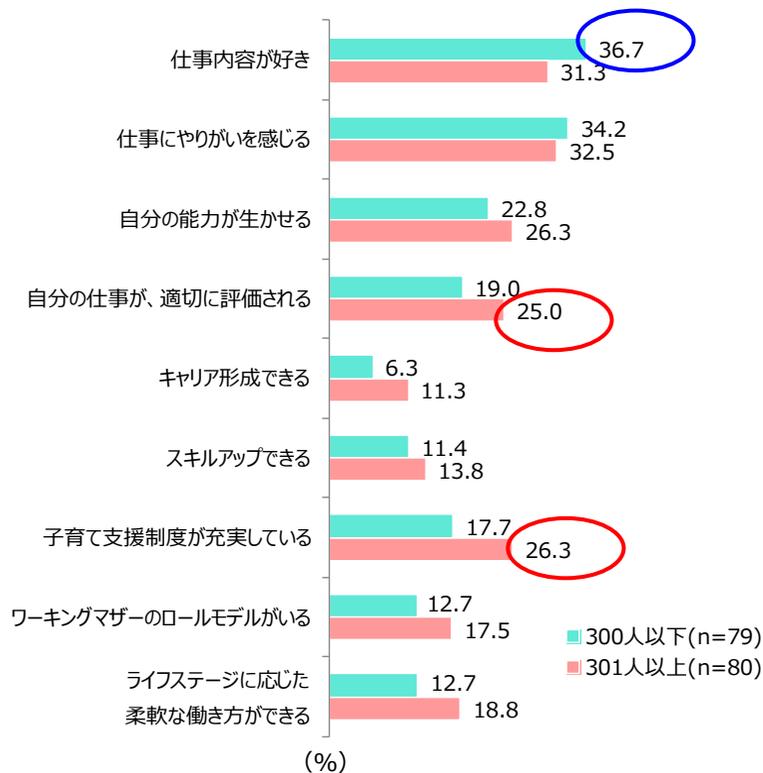
【全体】



勤務先の従業員数が「301人以上」のほうが、20ポイント以上多かったのは、「休暇が取りやすい」「福利厚生が充実している」。
 また、「職場の雰囲気が良い」「子育て支援制度が充実している」「自分の仕事が適切に評価される」なども、大企業のほうが5ポイント以上多い。
 「300人以下」のほうがポイントが5以上多いのは、「仕事内容が好き」。

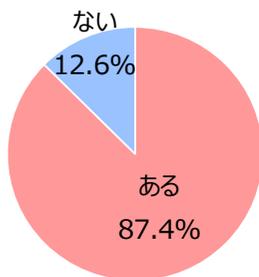
今の会社や仕事のよい点 (複数回答)

【勤務先の規模 (従業員数) 別】

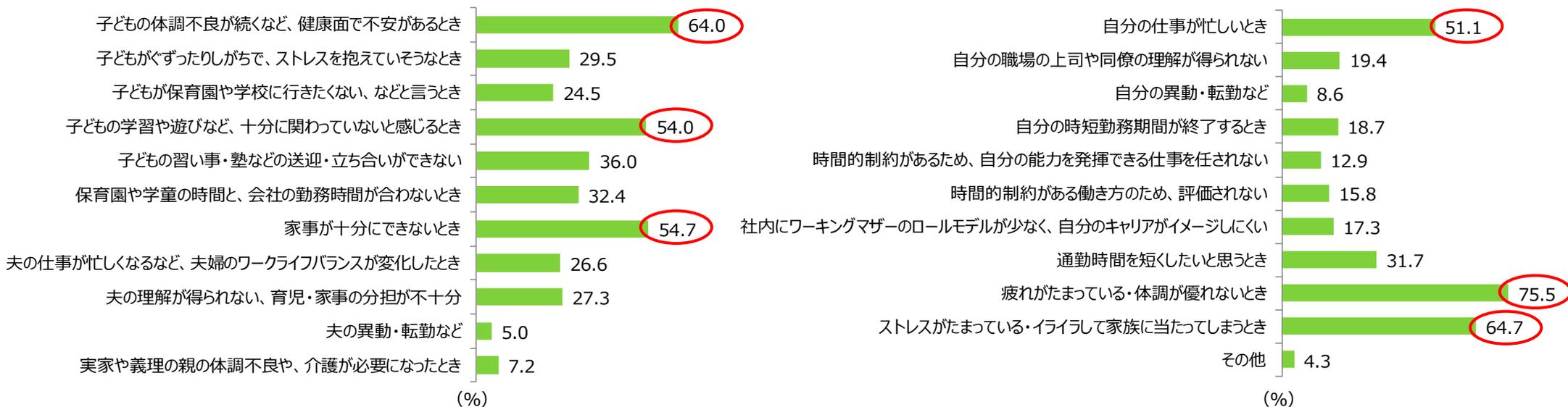


ワーママとして働く中で、仕事や働き方について悩んだことがある人は9割近くいる。
 悩んだきっかけや理由の上位は、「疲れがたまっている・体調が優れないとき」75.5%、「ストレスがたまっている・イライラして家族に当たってしまうとき」64.7%。多くのワーママが、心身の不調から仕事・働き方への迷いを感じていることが分かる。
 また、子ども関連の悩みでは、「子どもの健康面に不安があるとき」「子どもの学習や遊びなど、十分に関わっていないと感じるとき」に、仕事や働き方を考える人が多い。
 「家事が十分にできないとき」「仕事が忙しいとき」も半数以上の人が、働き方に悩んでいる。

【全体】 ワーママとして働く中で、仕事や働き方について悩んだことがあるか？



【全体】 悩んだきっかけや理由 (複数回答) n=139

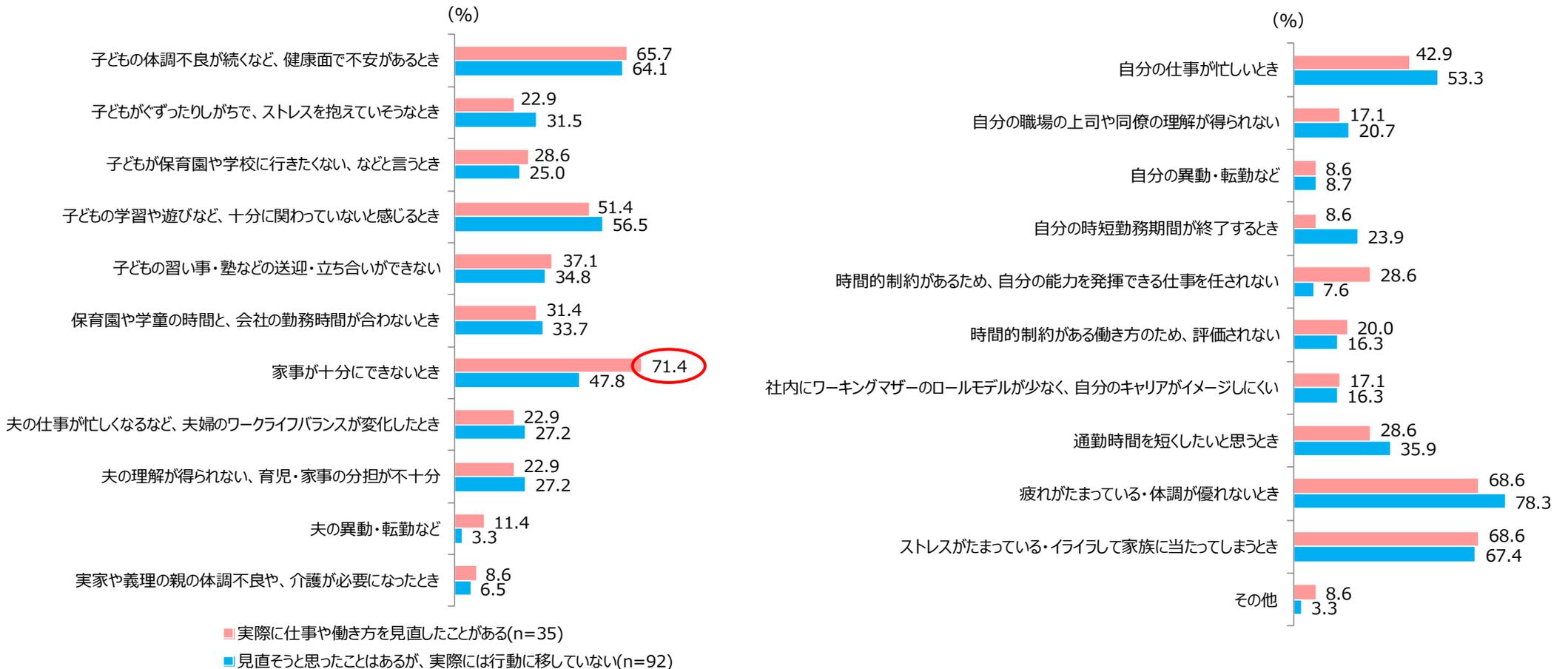


ワーママとして働く中で、仕事や働き方について悩んだときに、「実際に仕事や働き方を見直したことがある」人は、「家事が十分にできないとき」に悩んだ人が多い。

悩んだきっかけや理由

【実際に仕事や働き方を見直した人と、見直そうと思ったことはあるが行動に移していない人の違い】

(複数回答)

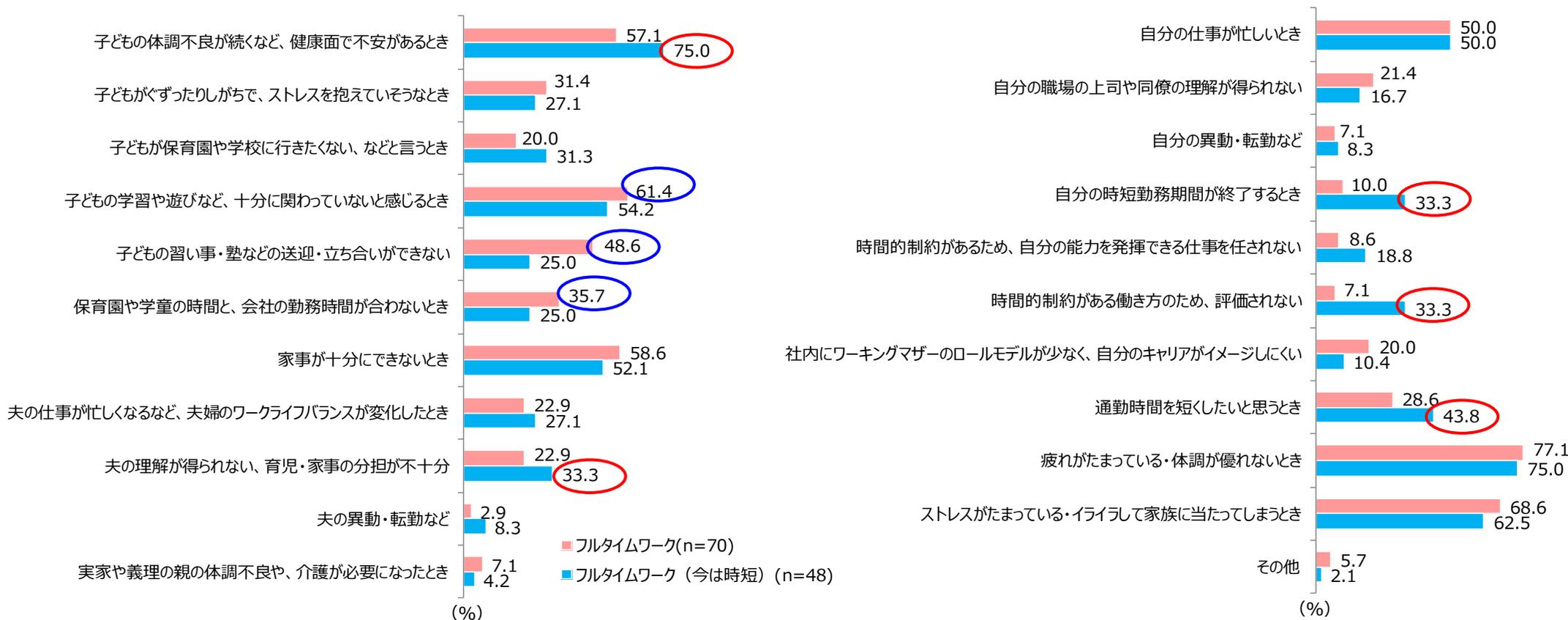


時短勤務者は、時短勤務に関する項目のポイントが比較的高い。「時短勤務が終了するとき」(33.3%)に家事・育児・仕事のバランスが変わる不安や、「時間的制約がある働き方のため、評価されない」(33.3%)という思いが交錯する。時短勤務者は、末子が保育園児という人が大多数ということもあり、「子どもの健康面で不安があるとき」に、働き方に悩むことが多い。

フルタイム勤務者は、フルタイムゆえの時間のやりくりに悩みを感じている。子どもが比較的大きい(末子が小学生以上の人約4割)こともあり、「学習や遊びなど、十分に関わっていないと感じるとき」61.4%、「子どもの習い事・塾などの送迎・立ち合いができない」48.6%などの理由で、働き方を考えることが多いようだ。

【働き方別】

悩んだきっかけや理由 (複数回答)

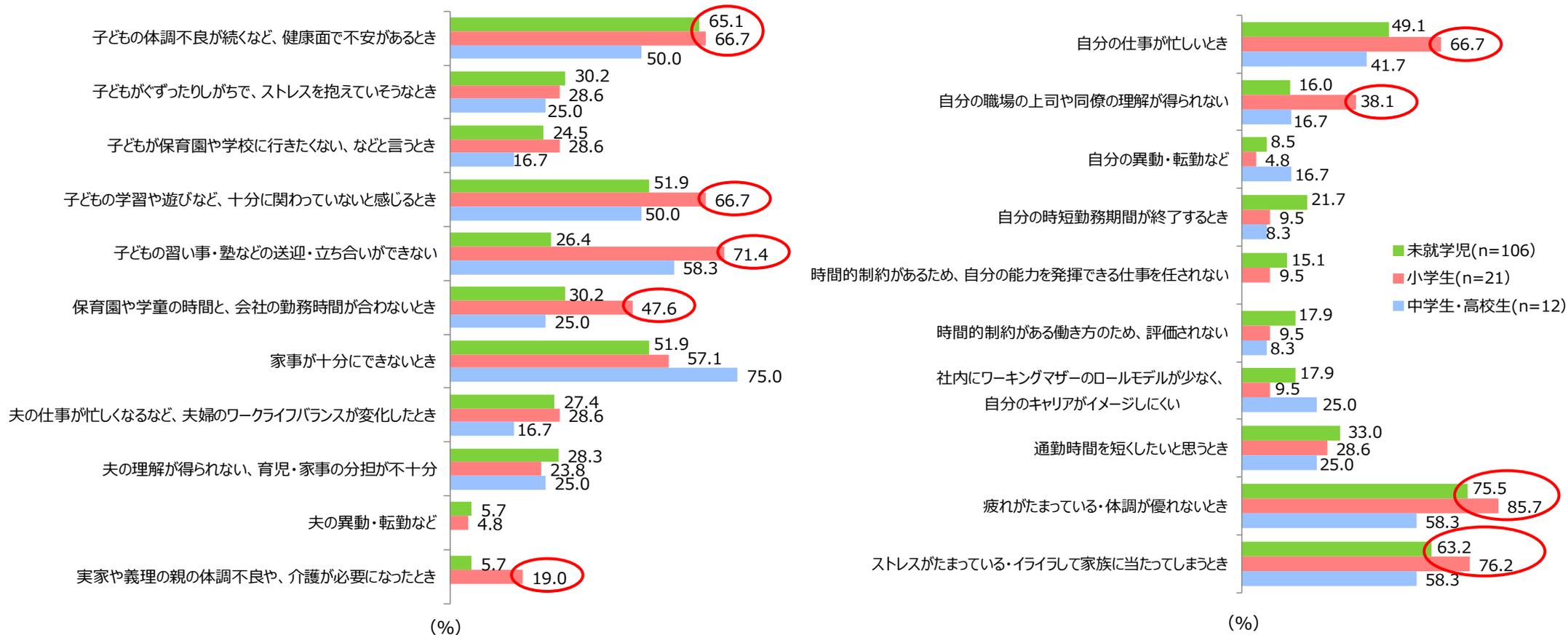


未子学齢別にみると、未子が小学生という人は、高ポイントの項目が多い。「子どもの学習や遊びなど、十分に関わっていないと感じるとき」「子どもの習い事・塾などの送迎・立ち合いができない」「保育園や学童の時間と、会社の勤務時間が合わないとき」などと、育児に関する時間的制約に悩みを感じている人が多数。未子が未就学児や小学生の場合、「子どもの健康面で不安があるとき」や自身の「疲れがたまっている・体調が優れないとき」「ストレスがたまっているとき」のポイントも6割以上と高い。

※未子が中学生・高校生という人はn=12のため参考値

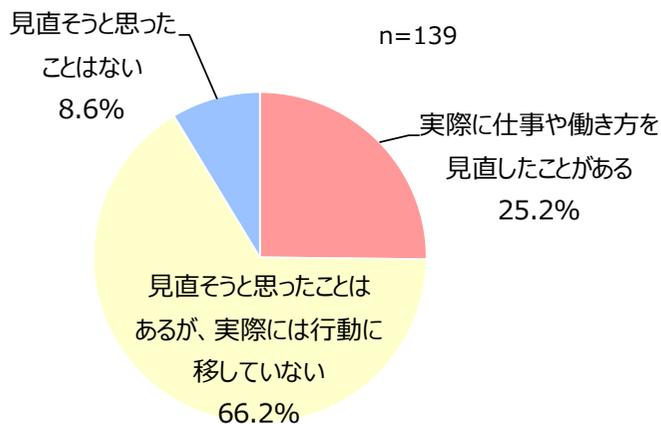
【未子学齢別】

悩んだきっかけや理由 (複数回答)

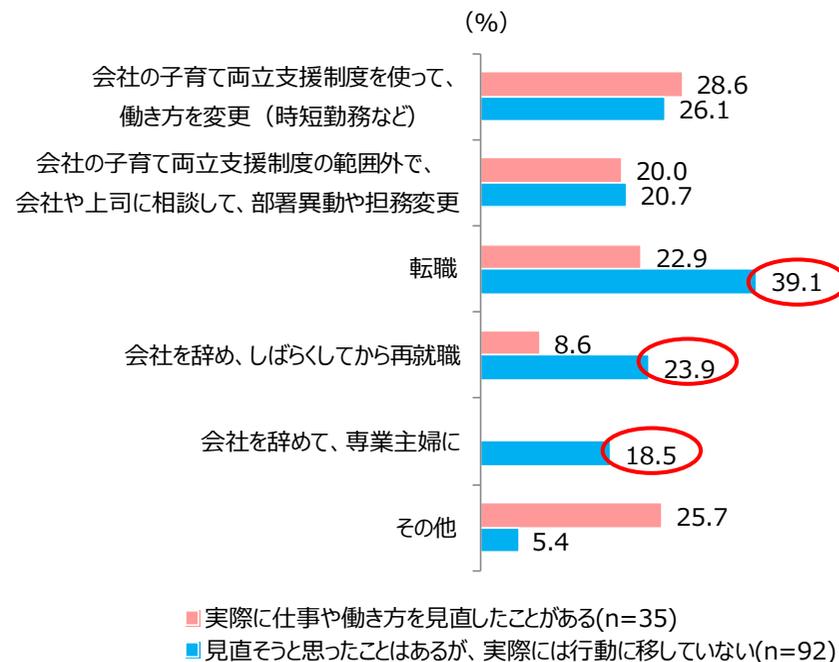


ワーママとして働く中で、仕事や働き方について悩んだときに、実際に仕事や働き方を見直したことがある人は、約4分の1。どのように見直したかという、「会社の子育て両立支援制度を使って、働き方を変更」「会社や上司に相談して、部署異動や担務変更」という人が約5割。実際に転職した人は22.9%。「見直そうと思ったことがあるが、行動には移していない」場合は、「転職」を考えた人が39.1%で最多。そのほか、「会社を辞めて専業主婦 or しばらくしてから再就職」という選択肢も浮かんでいいるが、実際に行動した人のポイントが低いことから、実際に選びにくい選択肢ということだろう。

ワーママとして働く中で、仕事や働き方について悩んだときに、 仕事や働き方を見直そうと思ったり、 実際に見直したことがあるか？



「見直した」人は、どんなふうに見直したか？ 「見直そうと思ったことがあるが、行動に移していない」人は、 どのような見直し方を考えたか？ (複数回答)

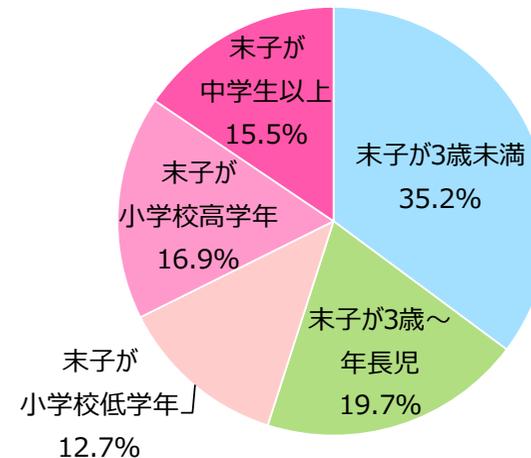
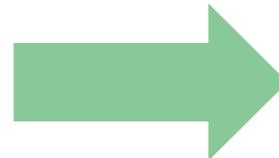
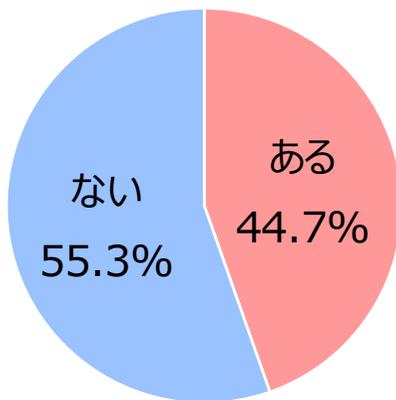


ワーママになってから、もっと仕事に力を入れたいと思うようになったことがある人は44.7%。そう思った時期は「末子が3歳未満」が35.2%と最多。

ワーキングマザーになってから、家庭・子育てとの両立が軌道に乗ったり、子どもから手が少し離れたりして、もっと仕事に力を入れたいと思うようになったことはあるか？

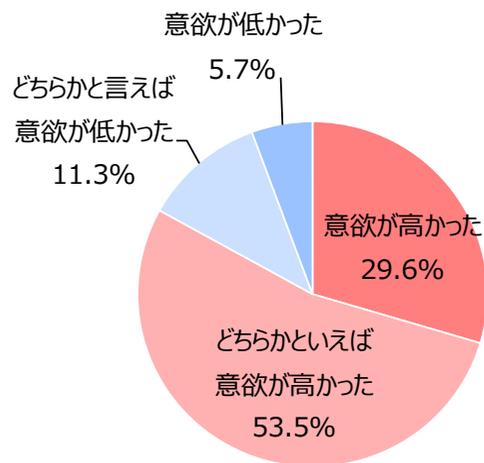
「ある」と答えた方、それはいつごろですか？

n=71

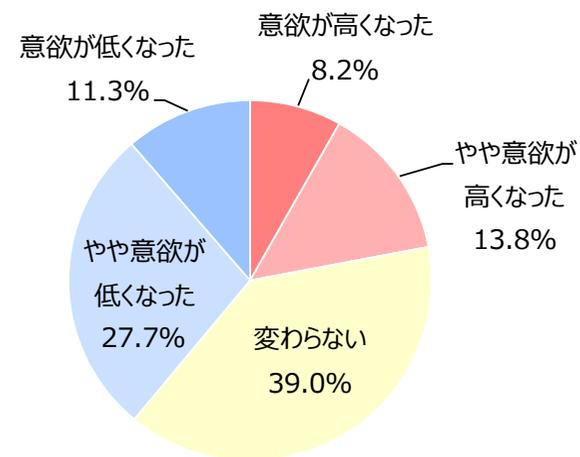


子どもができる前、仕事への意欲が「高かった・どちらかといえば高かった」という人が8割超と大多数。
 子どもができてから、仕事への意欲が「変わらない」という人が39.0%。一方で、「やや低くなった」「低くなった」を合わせると39.0%いる。

子どもができる前の、仕事への意欲



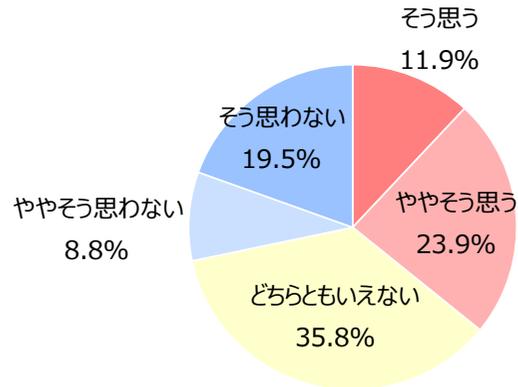
子どもができてから、仕事への意欲は変わったか？



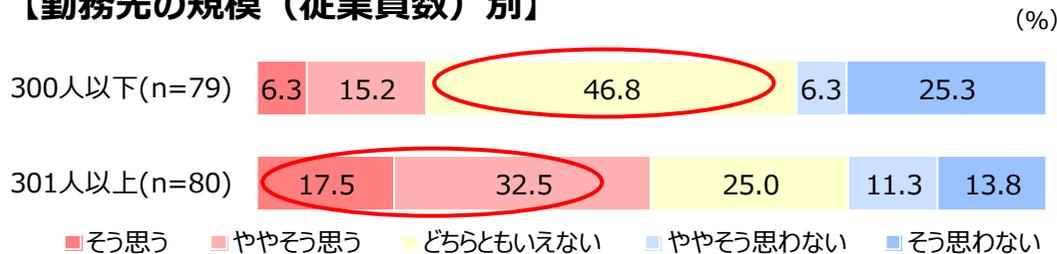
働き方改革や女性活躍推進などが進められている中、3年前と比べて、自分自身が働きやすくなったと「思う・やや思う」人は35.8%。その理由としては、子育て支援制度が会社に導入されたり、ワーママの増加や周囲の認知・理解の拡大などが挙げられている。
 働きやすくなったと「思わない・やや思わない」人は28.3%。理由としては、制度の導入や職場の理解促進が進まないというものが多。
 特に、勤務先の従業員数が300人以下の場合、「どちらともいえない」が46.8%、「やや思わない・思わない」人が31.6%と、あまり改善が感じられていない。

働き方改革、女性活躍推進などが進められている中、3年前と比べて、あなた自身は働きやすくなったと思うか？

【全体】



【勤務先の規模（従業員数）別】



その理由

働きやすくなったと思う・やや思う

- テレワーク制度が、1歳未満の子を持つ母親から、全社員へと拡大され、取りたければ誰でも取れる環境となり、特別扱いされている感が減り、同等に働けるようになった（41歳／フルタイムワーク／末子が保育園児）
- 社内にワーママが増えて、こどもの話をしやすくなった（45歳／フルタイムワーク／末子が保育園児）
- 育休が延長されたり勤務先に託児所が出来たり制度が少し整ったので（39歳／フルタイムワーク／末子が保育園児）
- やはり、産休育休の短時間勤務への周囲の理解が以前より浸透していると感じる。いろいろ問題はあけれど、それが何より有難い（37歳／産休・育休中／末子が保育園児）

どちらともいえない

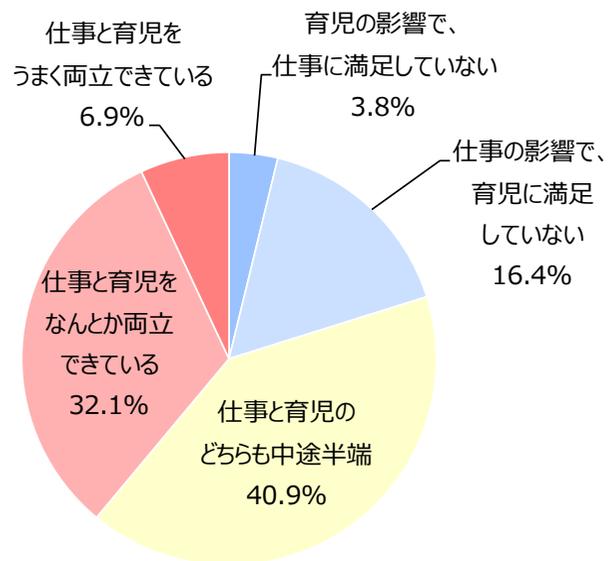
- 謳っているだけで特に変化を感じられない（45歳／フルタイムワーク／末子が保育園児）
- 制度は整っても職場の人の考え方はなかなか変わらないから（36歳／時短勤務／末子が保育園児）

働きやすくなったと思わない・やや思わない

- 年下がどんどん昇進し、時短勤務は少し肩身がせまい（34歳／産休・育休中／末子が未就園児）
- 男性の働き方がなにも変わっていないから（34歳／フルタイムワーク／末子が保育園児）
- 大手の正社員しか待遇されない 中小やサービスがやれるわけがないから（40歳／時短勤務／末子が保育園児）
- 4月から職場復帰をしたと同時に異動になり全く新しい業務につき、心身ともに限界・・・（42歳／時短勤務／末子が保育園児）
- 職場上司の方針が変化しないので（39歳／フルタイムワーク／末子が小学校低学年）

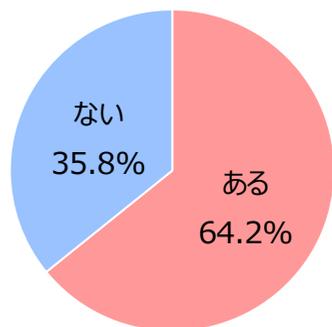
仕事と育児の両立について、「どちらも中途半端」と思っている人が約4割と最多。
「うまく両立できている」「なんとか両立できている」という人が約4割。

仕事と育児の両立について、あなたの気持ちに最も近いものは？



子育ての経験が、仕事に役立つことがあるという人が64.2%。
具体的な内容を聞くと、メンタル面の成長（優しくなった、忍耐強くなった、など）、コミュニケーション力アップ、効率・段取り力アップなどが見られる。
また、子ども連れの顧客への対応や商品企画などに、育児の経験を生かせるといった声もある。

子育ての経験が仕事に役立つことがあるか？



具体的な内容

- 仕事関係だけでなく、子供絡みの人脈もできたので幅広い考え方に触れられるようになった。家事も仕事も優先順位をつけて段取りを考えて効率的に動けるようになった（39歳／フルタイムワーク／末子が保育園児）
- 人に優しくなった。息子に恥じない生き方を意識しているからかも（32歳／フルタイムワーク／末子が幼稚園児）
- 人の痛みがより分かるようになった（34歳／フルタイムワーク／末子が保育園児）
- 他者の状況を俯瞰して見ることができる（43歳／フルタイムワーク／末子が小学校低学年）
- コミュニケーション能力と相手を理解しようとする心がけになった（36歳／フルタイムワーク／末子が保育園児）
- 色々な人の意見がよく聞けるようになったと思う（38歳／フルタイムワーク／末子が保育園児）
- 時間の使い方が、上手になった。忍耐強くなった（45歳／フルタイムワーク／末子が保育園児）
- 優先順位のつけ方、取捨選択が速く明確になった（32歳／産休・育休中／末子が未就園児）
- 接客業なので子供の話でお客様と盛り上げられる。子持ちだと安心して貰える（39歳／フルタイムワーク／末子が保育園児）
- 接客で子どもや家族連れと接する時に有効なアドバイスができる（43歳／フルタイムワーク／末子が小学校低学年）
- 年配の方が相手だと「子供がいる」と言うと世間話の幅が広がり信頼を得やすくなって仕事の話を進ませられることが多かった（45歳／フルタイムワーク／末子が保育園児）
- 子連れのお客様が求めていることがわかるようになったし、後輩の見方もかわった（42歳／フルタイムワーク／末子が中学生・高校生）
- 子ども目線の商品企画ができるようになった（42歳／フルタイムワーク／末子が保育園児）

年齢	現在の働き方	未子学齢	ワーママになってから、上司や同僚に言われてショックだったり、仕事のモチベーションが下がった言葉
41	フルタイムワーク	小学低学年	時短勤務をしているとそれなりの評価しかされないとされた。時短勤務でも効率よく働いて成果は出しているつもりだったので、とてもショックでした。やはり周りの理解が必要だと思います。
41	フルタイムワーク	保育園児	子供は理由にならないと言われ 子供の体調不良の時に休みをもらえなかった時、辞めてやろうと思いました。
41	フルタイムワーク	保育園児	保育園の延長保育制度の話題になったとき、「それなら安心して残業できるね」と同じ部署のメンバーに言われた時
43	フルタイムワーク	小学低学年	先輩社員に言われた「介護なら仕方ないけど、出産・育児はやりたいから選んだんでしょ、それは遊びに行きたいから早く帰りますって言ってるのと同じじゃないの。みんなが残業しているのになんで貴方だけ特別扱いなの？」と言われたこと（定時退社なのに）。
41	フルタイムワーク	保育園児	子供の病気で3日休み、それを残業や休日出勤でカバーできなかったため、上司に締め切りの延長をお願いしたところ「仕方ないとは思いますが、子どもが生まれてから、仕事の精度が下がったよね」とため息交じりで言われました。上司の信頼を裏切った自覚があっただけに、きつかったです。
42	フルタイムワーク	中学生・高校生	早くフルタイムに戻ってほしい。子育ても仕事も育児もいっばいっばいだった時に言われたのでこれ以上、仕事を多くこなすことを期待されるのは正直しんどいって思いました。
41	フルタイムワーク	保育園児	男女平等だから子供がいても男性と同じように仕事をこなしてね
33	フルタイムワーク	保育園児	第二子の妊娠をとめられた
39	フルタイムワーク	幼稚園児	子供が病気で何日も休んだとき、パートになればいいのに、何日も休んでいて、仕事にこれたね。悲しくなったし、退職するか検討し、転職サイトに登録して、次の仕事を探していた。
47	フルタイムワーク	中学生・高校生	どうしても仕事が終わらず残業していました。子供の習い事送迎のため一時席を離れ、また戻ったときに、パソコンの前に「残業するならできるときにまとめてやってください」とメモ置かれていた。どちらかと言えば、仕事が早い方なので、信用されていると思うのですが、子育てとの両立を、きちんと理解されていないのがよくわかり、非常に残念だった覚えがあります。それ以外にも挙げればキリがありませんが、育児休暇のたび、妊娠し上司に伝えるのが本当に気が重かったです。
39	時短勤務	保育園児	もっと仕事がしたい、ふってくれと言ったのだが、時短だから任せられないと言われた。。
34	時短勤務	保育園児	他のワーママ同僚は親と同居して子どもの急病でも対応できるため、ある上司が「いざという時は（私でなく）あなたに期待してるから」と言っていたと人づてに聞いた時。両親とも遠方の我が家は、それだけでもサポートを得られずなんとか頑張っているのに、そんな風に見られてるんだ、とショックでした。
36	時短勤務	保育園児	2人目の育児明けで会社に行った時に、自分の担当を変えられていた。新しい仕事の方が1つあたりにかかる時間が短くて（周りの人に続きをお願いすることが少なく）独力で完成できるだろうから、と言われたが、前の担当が好きだったので悲しかった。復帰して4ヶ月になるがまだ今の担当を好きになれず、以前の方が楽しかったと思ってしまう。
31	時短勤務	保育園児	子供の病気は親の責任ということ。何気ない会話の中で言われた。育休復帰後異動して慣れない環境の中で、子供の病気で連続して休みをもらっていた為、肩身が狭かった。
31	時短勤務	保育園児	子供が体調不良で休みがちになっていた時に同僚から「また休むの？」と言われたこと
39	時短勤務	保育園児	良くも悪くも時短勤務は評価できないからなあ。フルタイムならもう少し仕事できたよね？（復職前と同じ量いやそれ以上にやっているのに）
42	時短勤務	保育園児	第1子妊娠中に昇進の話があった時、上司から「（子どもを産み、育てることについて）会社が産んでくれと頼んだわけじゃないし」とはっきりいわれ、言葉にならないほど唖然としました。出産育児は個人的な問題で、会社に持ち込むことではない、ということで、当時の経営陣のだから賛同されずに、昇進が見送られました。あれから10年以上経ち、その上司はもういませんが、忘れられません。仕事に対する考えかたが変わった（変えざるを得なかった）できごとでした。
33	時短勤務	保育園児	子供のノロウイルス、ロタウイルスに感染し、そこから私も感染した。その際、上司から体調管理をするよう言われた。体調管理が大切なのはもちろんだが看病で24時間一緒にいたら感染しないほうが難しいと思うので、言われたときに悔しかった。
35	産休・育休中	保育園児	「女性は子どもが3歳になるまでは側にいてやるべき」前職の上司（3人の子持ち）に、1年間の育休から復帰する前の面談で言われたことです。
38	産休・育休中	未就園児	育休の間に語学の勉強をするように言われたこと
37	産休・育休中	未就園児	根性出して、時間内に仕事を仕上げたのに、母は強し、とか薄っぺらい常套句で片付けられるとき 基本的に男性が多い職場なので、時短だとバカにされてる気がする こっちはガラガラ仕事する気はないから！

年齢	現在の働き方	未子年齢	ワーママになってから、上司や同僚に言われてうれしかったり、仕事のモチベーションが上がった言葉
41	フルタイムワーク	小学低学年	子育てしてるから忍耐力があるとされました。確かに何をしても理不尽な育児よりましだと思えるようになったので。
41	フルタイムワーク	保育園児	異動前の部署では上司に恵まれ仕事の代わりはいるけれどママの代わりはいないから体調下降気味の時に前もって病院に通院させてもらった
35	フルタイムワーク	保育園児	同僚は独身の年上の女性が多いのですが、「がんばりすぎちゃだめだよ」といつも声をかけてくれる。
34	フルタイムワーク	保育園児	ワーキングママのいいロールモデルとなってくれているよ
25	フルタイムワーク	保育園児	会社の上司から仕事が速くなったね。と言われたことが良かったです。
37	フルタイムワーク	保育園児	連れていっしょいよ、工作中、みんなで見てあげるから、時短勤務だった頃までは文句言ってた年配女性に言わしめたとき。
41	フルタイムワーク	保育園児	子供が入院した際に在宅および会社PCの持ち出し許可等をお願いした際「手続きはやっておくら、お子さんのそばにいてください」といってもらえたとき。病院の待合室と病室との往復は大変ですが、休まなくてすみました。
37	フルタイムワーク	保育園児	子どもの体調不良などで遅刻、早退、休暇をとらなくてはいけなかった時に、皆お互い様だよと言ってもらえた時
36	フルタイムワーク	幼稚園児	仕事では代わりはいるけれど、ママの代わりはいないから子どもに寄り添ってあげてね！ 仕事が忙しいときに子どもの体調が悪くなり、休むのを躊躇ったが同僚からそのような有難い言葉をかけてもらった。
43	フルタイムワーク	保育園児	「さすが、〇〇さん。」「〇〇さんがいなくなると困る。」と戦力として認められるとやる気が出ます。
33	フルタイムワーク	保育園児	経験者の方々。子どもの体調不良な度あった際こころよく仕事を変ってくれたり気軽に休ませてくれる
45	フルタイムワーク	保育園児	評価面談の時にいつも決まった時間の中で業務をこなして素晴らしいと言われ、ちゃんと見てもらえたんだと嬉しかった。
43	フルタイムワーク	保育園児	子供の体調不良で休んだ翌日に「具合はどう？」と聞いてもらったとき。
34	時短勤務	保育園児	「忙しい中ありがとう」「子どもの事情は仕方ないから、無理せずにはね」「単なる一社員と思ってないよ、重要なパートナーだと思っている」など、ねぎらいや存在意義を認めてくれるとモチベーションが上がります。
32	時短勤務	保育園児	保育園から呼び出され早退。次の日、みんなから大丈夫と声をかけてもらった時はなんだか気持ち救われました。
43	時短勤務	小学低学年	「是非、この会社の働くお母さんのパイオニアとなって、後輩の良い見本となってほしい」と言われ、やってきたこと、働き続けることを望まれているんだと感じたとき。
38	時短勤務	保育園児	がんばってるね、の一言で仕事も育児も認めてもらったようで嬉しい。
34	時短勤務	保育園児	きつかったらいつでも休んでいいからね。子供を優先してね。と言われたときはサポートしてもらってる分頑張ろうと思いました。
31	時短勤務	保育園児	戻ってきてくれてありがたいと言われたとき。1回目の育休復帰後、不安な部分もあったが自分の居場所があるということがとてもうれしかった。
29	時短勤務	保育園児	仕事を完璧にしたいとか、できるだけ休まずにしようとか、そう言う気持ちはとてもよくわかるけど、子供が大きくなったときに、あのときあえていればよかったな、と後悔しないように、できるだけ子どもに寄り添ってあげて、と言われました。4月に職場復帰し、保育園に通いだした頃、毎日のように熱を出して保育園から連絡がきていたので、それを知って管理職がお話してくださいました。女性の管理職で、昔は同様に子どもを育てながら働かれていたこと、また、自分のときには理解してくれる管理職がいなかったから、今の人には、辛い思いをしてほしくない、と言われ、ものすごく救われた気持ちになりました。
34	時短勤務	保育園児	『家庭があつての仕事です』と言われたとき。家庭を優先していいと言われて、気持ちが楽になりました。
27	産休・育休中	未就園児	保育園入園後、月に2回は体調不良でお迎えに。必ずみんながお大事にと言ってくれるので有難い。子供はしょっちゅう具合悪くなるから仕方ないと上司に言われ、楽になった。
37	産休・育休中	未就園児	『時短という働き方の中でも、君の頑張りが伝わって周囲にとても評価されている』と上司に言ってもらえたこと。ペアを組んで仕事していた後輩に、『時短でも先輩が来てくれて今までで一番仕事が楽しくなった。』と退社時間になると『あとは私に任せてください』と率先してフォローしてくれる、最高のパートナーに出会えた。とにかく勤務時間内はこの子のためにも精一杯尽くそうと本当に時間を大事に仕事に取り組めた！